

親水基準プロジェクト

1 [何のために?] ねらいや効果

水はすべての命を支えています。多くの市民が命を支える水を再認識し、暮らしの中で身近な水辺を愛する気持ちになれる。そんなまちづくり。水辺はスローライフの1シーンとして、暮らしの癒しの場として、もっと魅力的になれると思います。親水基準。水に親しむ基準、そんな基準を創り、水辺のたたずまいをふるさとづくりに活かしていきます。



関連する環境指標 (詳細は資料編参照)
多自然型河川・親水公園等の整備箇所数

2 [何をいつどのように?] 具体的な進め方

□A: 市民主体・行政共働 / □B: 行政主体・市民参加

1) 市民による親水基準をつくる

| | | | | | | | | | |
|------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 親水基準の設定と発表 | A | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 五つ星などわかりやすい評価と結果の表示の検討 | A | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

2) 親水度を調べ、水辺情景を選ぶ

| | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市内水域の親水度調査の実施 | A | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 各種水辺情景の選定とわかりやすい評価結果表示によるPR | A | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

3) 水辺情景をまちづくりへ活かす

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 選定箇所の表示看板や印刷物等による水辺情景への関心の醸成 | A | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 水辺情景まち歩きなどの環境まちづくりイベントの開催 | A | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

4) 水とふれあえる場所をつくる

| | | | | | | | | | |
|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 水遊びができる場所の調査を行う | A | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 安心して水遊びができる場の整備 | B | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

3

[どこで?] 実施場所

日進市全域の川やため池

4

[誰が誰と何を?] 取組主体と関係者の役割

取組主体 市民団体（地域自治組織、環境パートナーシップ組織）
市（水と緑の課、まちづくり推進課、建設課）

| | | |
|--|--|--|
| <p>市（行政）</p> <p>水辺整備における多自然型工法の推進 親水施設の整備 公共施設整備に伴う水辺環境の創出 まちづくりへの活用検討 取組主体への支援</p> | <p>市民団体</p> <p>プロジェクトの推進 イベントの企画協力</p> <hr/> <p>市民（滞在者等を含む）</p> <p>調査への協力 イベントへの参加</p> | <p>事業者</p> <p>活動への協力</p> <hr/> <p>教育機関</p> <p>専門分野での協力</p> <hr/> <p>市職員</p> <p>専門分野での支援</p> |
|--|--|--|

注）：取組主体としての役割、：関係者としての役割

5

[補足は?] 備考

親水基準（案）

親水基準とは、水質基準と異なり、情緒的・感情的な視点での水辺環境を計る指標です。

<基本視点>

- (1) 水辺が生命にとって大切であること。
- (2) 水辺が人や暮らしにとって、精神的に大切であること。
- (3) 水辺がふるさと日進にとって（財産として）大切であること。

<意識基準>

- (1) 行きたくなる。
- (2) ふるさとの誇りになる。
- (3) 人に伝えたい。
- (4) 大切にしたい。

<評価指標>

- (1) 景色として美しい（借景も含めたロケーション）
- (2) 近づきやすい・過ごしやすい（周辺構造・自然度）
- (3) 水がきれい（透明度）
- (4) 生き物が多様（動植物の多様性・多孔質）
- (5) 子どもの遊び場としての環境（安全性も含む）



澄み切った水面が広がる鶴思慕池